



四国大学オープンカレッジ

四国大学生涯学習センターでは、社会人、在学生、高校生などの多様な学習意欲に応え、地域社会の教育文化水準の向上に資することを目的として、生涯学習に係る各種公開講座を開講しています。

2020年度後期から四国大学オープンカレッジに、オンライン講座が仲間入りし、ネット環境のある場所なら、全国どこからでも受講が可能となりました。

「こんな講座があったら良いなあ」というご意見も大歓迎です。詳細は「四国大学HP生涯学習」でご検索ください。

まなびーあ徳島「新あわ学コース」

本まなびーあ徳島「新あわ学コース」は、徳島県と四国大学が連携して開設した講座で、本年で3年目となります。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、県内ケーブルテレビにて放送講座として実施しました。また、あわ検定も今年は初めてのオンライン受検へと実施形態を変更いたしました。どこでも誰でも学ぶことができる生涯学習として、人々のあらゆるライフステージに応じた講座を展開し広範な生涯学習のニーズに応えていくとともに、地域社会と連携した学びを提供していきたいと考えています。

今後とも、多くの方々に「新あわ学コース」を楽しみながら徳島について学んでいただければと存じます。



みま学講座の様子

美馬市生涯学習講座 「美来創生 みま学講座」

100歳人生を生き抜くための「知の再武装」を目指し、郷土に誇りと愛着を持ってもらうため、美馬市の歴史文化、伝統技術や今を深く学べる機会を提供する生涯学習講座を美馬市と四国大学が連携して開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、配信講座は、中止となりましたが、美馬市地域交流センター（ミライズ）で感染防止対策を取りながら13講座を開催しました。

美馬に係るテーマ（暮らし、歴史、文化等）を中心に学びを深め、美馬の魅力を再発見していただきました。

SUDAchi Event NEWS

- 令和3年度
- ・第11回 地域活性化フォーラム
 - ・第5回 あわ検定実施



大学COC(Center Of Community)事業とは？

文部科学省支援の事業として大学と地域社会が連携し、全学的に地域に志向した教育・研究・社会貢献を進める「地域のための大学」を支援することで、**地域コミュニティの中核的存在として大学づくり**を目指すものです。

SUDAchi Project NEWS Letter

No.12
2021.2



とくしまを学び、協働で創生する。
四国大学大学COC事業SUDAchiプロジェクト！



四国大学では、「徳島県地方大学地域産業創生事業」により「光・アート教育人材育成事業（通称T-LAP（Tokushima Light Art Project））」を実施しています。今年度は、高度な光応用人材育成のための「光アートスクール」4講座を実施しており、大学、高専、社会人が約70名参加してそれぞれのスキルを高めています。

こうした講座は来年度も継続して行う予定です。

また、小さいころから光アートの可能性を体感してもらうため、教職員による様々なプログラムを実施しています。

四国大学では、「光」が徳島のブランドとなるよう引き続き精一杯取り組んでまいります。



吉野川市でのプログラミング教室の様子
小学校高学年向けの「プログラミングでLEDを光らせよう」



低学年向けの「光る風鈴」



A館西壁面のライトアップ



児童学科学生の作品「光の迷路」

- 薬王寺の文化財調査
- 産学連携
- 創業支援事業
- SUBARU事業
- 高大連携事業
- 四国大学オープンカレッジ

まなびーあ徳島「新あわ学コース」
美馬市生涯学習講座「美来創生 みま学講座」

SUDAchiプロジェクトとは？

「SUDAchi」=Shikoku University Dream Achievement: 四国大学夢実現
全学的な推進組織の体制を整備し、地域課題の解決に向けたカリキュラムの充実を図り、特色ある「地域貢献型人材」を育成します。

学長あいさつ



学長 松重 和美

先進的地域貢献大学を目指す四国大学において、2014年地域教育・連携センターを設置し、本格的な活動を始めました。当センターでは、文部科学省の地（知）の拠点整備事業への採択を契機に、四国大学COC事業『とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業』として、大学と地域との協働的な取り組みを全学的・組織的に展開し、地域の活性化に貢献できる人材の育成を目指した活動を行ってきました。

その後、更にCOC+事業、私立大学研究ブランディング事業、徳島光・アート教育人材育成事業（T-LAP事業）、生涯学習講座である「新あわ学コース」「美来創生みま学講座」、自治体からの受託研究など多彩な取り組みへと継続・発展しており、こうした地域連携活動について全学挙げて幅広く取り組んでいます。

こうした取り組みの推進により、地域教育の一層の充実とともに学生が逞しく成長し、地域の課題の理解・解決、自治体等との密な連携、そして地域自体・経済の活性化に貢献できることを期待しています。



創業支援事業

四国大学では、将来、仕事を創りだすリーダー人材の育成を目的とした創業支援事業を実施しています。起業家を招いたセミナー、ビジネスプランコンテスト、企業との共同開発プロジェクト、チャレンジショップなど様々なプログラムを開催するほか、学生の起業や社会での実験的な活動に対しても、常駐する創業支援クリエイターが伴走支援する体制を整備しています。これまで、多くの学生の主体的で個性溢れるプロジェクトが生まれており、2020年6月には四国大学第1号となる大学発ベンチャーが誕生しました。

薬王寺の文化財調査



地域の優れた文化財を掘り起こし、地域の魅力の再発見を図ることを目的として薬王寺の文化財調査を令和2年11月21日に実施しました。

調査は文学部日本文化学科須藤教授と学生11名で行いました。コロナ禍で活動が制限される中現地調査を実施出来たことは、学生にとって多くの学びを得られた貴重な体験となりました。

今回の調査結果については、報告書を作成し、後日実施予定の報告会で報告いたします。



SUBARU事業

私立大学研究ブランディング事業の実施期間を5年から3年に短縮する方針が文部科学省から示され、令和元年度が支援事業の最終年度になりましたが、残りの2年間を自走して継続していきます。

本年度は、藍に関する古文書の解説作業、「藍の家」所有の藍染作品のデータベース整理、タデアイに含まれる染料成分の分析、食べる藍の機能性確認試験等の事業を実施しました。また、徳島県議会棟、美馬市立図書館、徳島県立文書館、沖縄県立博物館で藍に関する展示用のパネル等を提供しました。

産学連携



書道文化学科2年生8人でつくる書道グループ「悠縁」が11月16日、徳島グランヴィリオホテルであった徳島ビジネスチャレンジメッセ2020のオープニングセレモニーで、VR書道パフォーマンスを披露しました。指導・演出は書家の上田普さん、ピアノ演奏と歌はシンガーソングライターの福富弥生さん、VR技術協力はメディア情報学科の辻岡卓准教授。いずれも本学の卒業生で、オール四国大学の力でセレモニーのメインイベントを成功させました。



高大連携事業

令和2年11月14日（土）～15日（日）に開催された芳藍祭にて、「高大連携事業」のパネル展示を行いました。

徳島県立城西高等学校の「沈殿藍作りと応用研究」では藍作りの紹介や藍染・藍墨作品の展示、徳島県立阿南光高等学校の「緑のリサイクルグリーンエコプロジェクト」では活動紹介や枯草堆肥の展示、生光学園高等学校との高大連携プログラムなどを紹介しました。期間中は学生や教職員がブースに立ち寄り、紹介パネルや展示作品を見学いただき、高大連携の取り組みに対する理解を深めてもらえた有意義な機会となりました。